

教育実習を想定したシュミレーション 【教育実習事前指導】用

教育実習中は、当日中以下 A～C のサイクルによって学習指導を行なっていきます。従いまして、【教育実習事前指導】においても実際の教育実習の授業実践を行う流れに沿って、模擬授業を行っていきます。

I 授業実践前後の流れ

A 教材研究・学習指導案作成

↓

B 授業実践

↓

C 振り返り

↓

再び A に戻る。

II 具体的内容

(a) 教材研究・学習指導案作成について

1. 学習指導案

- (1) 授業をどのように進めるのかを具体的に書いたもの
- (2) 単元全体の指導計画から見た本時（1 時間分）の位置づけ

2. 学習指導案の例

- (1) 都道府県の教育研究所
 - (ア) 東京都教職員研修センター
 - (イ) 埼玉県総合教育センター
- (2) 教科書会社
 - (ア) 啓林館
 - (イ) 東京書籍

- (3) 大学の研究室、附属学校

3. 学習指導案の内容

- (1) 単元の指導目標
- (2) 教材観
- (3) 単元の指導計画（上述の教科書会社の WEB ページも参考になる）
- (4) 本時の指導目標
- (5) 本時の授業展開案
- (6) 授業の評価

4. 学習指導案の作成

- (1) 作成のための準備
- ①学習指導要領解説を読む。(大きな目標をとらえる。)
- (数学) 小学校算数、中学校数学、高等学校数学科・理数科を読む。
- (理科) 小学校理科、中学校理科、高等学校理科・理数科を読む。
- ※書籍としても購入できるが、文部科学省の WEB ページからダウンロードすることも可能。
- ②教科書
- 見比べる。記述の確認をする。
- 中学校は 7 社。
- 高等学校は 1 社でレベル別に 3 種類作成していることが多い。
- 1 社で 7 種類作成している会社もある。
- ③問題集
- (3) 授業で扱う具体的な教材を考える
- (4) 授業目標を考える
- (5) 授業展開を考える
- ① 授業目標を実現するための具体的な発問を考える
- 授業の「山場」を作る
- 「発問」の大切さ ≠ 「質問」「指示」「注意」
- ※「発問」とは
- ② 台本を書くように学習指導案を考えたい。
- どんな内容を考えさせるのか
- どんな活動をさせようとしているのか
- ③ 反応例を予想する
- 正答だけでなく、誤答や誤った方法も考える。
- 途中で止まってしまっている生徒や何も書けない生徒の手立てを考える。
- ④ どのような危険があるのかを考える (理科や美術科、工業科など)
- 安全配慮義務
- 生徒に実験を行わせるときの注意事項
- 薬品の混ぜ方、実験の手順、実験器具の持ち方など
- (6) 学習指導案を書く
- 学習指導案は 1 つの単元を見通したことを前提とする 1 時間の授業プラン

単元の目標

この単元の目標は何か。

教材観

単元の位置づけは何か？今回の授業内容を学習する意味は何か。

単元を通じて、どのような力を身につけさせたいか。

授業の目標

この授業の目標は何か。
生徒たちにどんな力を身につけさせたいか。

授業展開・・・1時間の授業を3つの場面に分ける：導入、展開、まとめ

授業をどのように導入するのか。
(生徒に自分の課題と思わせることはできるか。)
授業の目標を達成するために、
生徒にどんな活動をさせるのか。(ただ問題を解かせることではない。)
何を考えさせるのか。
そのためには、どんな発問をするか。
生徒はどんな反応をすると予想するか。
(正答も誤答も思いっくだけあげてみる。)
つまづいている生徒にどのようにサポートするか。
どのような順番でどんな内容を生徒に発言させるのか。
どのように議論を深めていくのか。
生徒のどんな発言を得られたら、理解していると判断するか。

授業の評価

授業の目標に照らして、どんな活動が得られたらよいと考えるのか。

机間指導(机間巡視)→教師の評価活動

(b) 授業実践について

2022年度後期 教育実習事前指導(3年生) 授業予定

- *一人2回の模擬授業の実施及びその検討(一人約10分程度の模擬授業、約8分の授業の分析を行う批評検討会。) 1回目・・・10分 教師の語りと板書のみ
2回目・・・10分 語りと板書に生徒役とのやりとりを追加

【重要】

- ☆模擬授業の前段階として授業者は全員、「授業展開(学習指導案の一部)」と「授業の流れ(主にパワーポイントでの作成)」or「板書計画」「授業シナリオ」の2部を作成し、前日金曜日の19:00までにクラスルームのストリームにアップし提出する。
- ☆他者の検討会の結果も踏まえ、一人2回「模擬授業」を行う。
- ・教材研究、授業の構成、板書内容、学習指導案の内容、生徒理解、コミュニケーションのとり方、発問の質が検討の観点です。
 - ・授業者は終了後、当日22:00までに振り返りを課題としてGoogle・ドキュメントに提出する。
 - ・生徒役の学生は、批判検討会にてチャットでのコメントを必ず行う。
 - ・希望者もしくは、教員の判断により3回目の模擬授業を行なっていただく場合もある。

模擬授業2回目(再掲)

みなさん11月12日(土)より模擬授業2回目が始まります。時間と労力をきちんとかけ準備をしていきましょ
う。

以下、再掲をする前にいくつか注意点がありますので、よくみて作成してください。

「授業展開(学習指導案の一部)」の作成について(添付フォーマットに従ってください)

・本時のねらいには、学習指導案のページを記載することと自身で考えた本時のねらいを書くこと。その際、そのねらいに3観点のいずれかが記載されている事になります。

・教師の指導・留意点には自身の専門教科に関する指導の内容を書く。

(例えば、「虚軸の必要性を実軸の回転から導くようにする」などは専門の数学科にしかできない指導ですので、これらを書く。)

・指導と評価規準を一致させる。(サッカーのシュート技能を指導しているにも関わらず、ゴールキーパーのボールの取り方を評価しないようにする。)

再掲【重要】

☆模擬授業の前段階として授業者は全員、「授業展開(学習指導案の一部)」と「授業の流れ(主にパワーポイントでの作成)」or「板書計画」「授業シナリオ」の2部を作成し、前日金曜日の 19:00 までにクラスルームのストリームにアップし提出する。

・授業者は終了後、当日 22:00 までに振り返りを課題としてグーグルドキュメントに提出する。

・生徒役の学生は、批判検討会にてチャットでのコメントを必ず行う。

・希望者もしくは、教員の判断により3回目の模擬授業を行なっていただく場合もある。

(c) 振り返りについて

【教育実習事前指導】 2巡目模擬授業後の振り返り 提出期限：授業日 22:00 まで

提出の際は、Classroom のグーグルドキュメントに必ず、ファイル名と課題の最初に

「(学籍番号)+(氏名)+(第〇〇回 模擬授業の振り返り)」を書いてください。

そのあと、課題の観点を写してから、書き始めてください。

(記入のない場合、出席確認も評価もできないので注意してください。)

「課題」

模擬授業を終えて、教員や他の学生のコメントなども取り入れ自分の行った授業を振り返ってください。(以下の8つの観点は必ず入れて振り返りを行ってください。800~1000字程度)

【観点】

- ・本時のねらいは、学習指導要領からみて適切に設定されているのか、観点は適切か
- ・本時のねらいについて迫る工夫はどんなところにあったのか
- ・教材は本時のねらいを達成するために適切であったのか
- ・学習指導案に具体的な教科固有の指導の内容を示し、実際に授業の中で、生徒の理解を促すことができているのか

- ・生徒の思考や判断、表現を促す「問い」、「板書内容」、「掲示の仕方」ができているのか
- ・単なる手順の説明や生徒の知識技能の獲得にとどまらず、生徒同士の思考やイメージをつないでいるか
- ・生徒の思考や表現が円滑にできるよう質問ではなく発問を行い、その発問の質は適切であったのか
- ・生徒理解を考えたコミュニケーションのとり方、間合いがとれているのか